

2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	住み慣れた地域でその人らしい生活を穏やかに送られるよう、地域の協力を得ながら支えていくという理念を掲げている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員の定例学習会や日常の話し合いの中で共有化され、笑顔が絶えず優しい雰囲気にあふれた取り組みがなされている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地区自治会に加入し回覧板で区の情報を入手している。また、ホームの夏祭りへの参加を呼びかけ地域との交流に努めている。	○	耕起、播種など菜園の管理を全てホームの職員や利用者で抱え込まず、地域の手慣れた方々に依頼することで、よりホームとの交流が期待できると思われる。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は管理者を含め、全員の話し合いで行なわれている。運営者、管理者はもとより職員も自己評価、外部評価をサービス向上の道具のひとつとしてとらえ、積極的に取り組まれている。		

宮崎県延岡市 グループホーム愛宕荘

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見はサービス向上に活かされている。	2か月ごとに開催され、その記録も整備され全職員に回覧されている。内容も健康管理の対応や、ホームの地域密着型サービスのあり方が検討されるなど、短・長期的なサービスの向上に直接結びつくことが多く、会議が生かされている。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	生活保護受給者や透析治療者の障害者給付及び介護保険に関することなど、担当者との連絡が適時行なわれている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月発行のホームだよりには、必ず写真を添付して最近の表情を届けている。県外に家族がある1名には、金銭出納簿の写しを同封している。さらに、面会の少ない家族には電話報告も密に行なわれている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族からの意見や不満には、直接しんしに受け止め、丁寧に応対して解決を図っている。	○	第三者による相談窓口を設けることにより、家族の意見や苦情がさらに言いやすくなり、それらを運営に反映する仕組みを検討していただきたい。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	上・下階の2ユニットのため全職員とも顔なじみであり、職員もユニット間を交流する勤務配置がとられている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	全職員が研修に参加できるよう勤務体制が組まれている。また、勤務しながら資格取得にも配慮されている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	県北グループホーム連絡協議会研修会や九州保健福祉大学の認知症研修会の参加を通して、グループホームの情報交換などのネットワークを構築したいとの気運が高まっている。	○	県北には九州保健福祉大学の積極的な指導体制が期待されるなか、先駆的なグループホームネットワークを実現に期待したい。
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居当初から雰囲気になれるよう寄り添い、声掛けによる不安の解消に心がけた対応が図られている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	共に過ごす・暮らすという基本姿勢であり、利用者の表情は穏やかで笑顔が多くみられる。調理にも参加してもらっているが、特に、ちらし寿司や団子づくり、梅干など職員が教えてもらう関係であり利用者の活力がうかがわれる。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの訴えなどによく耳を傾けている。家族と密に連絡を取り、本人の希望の把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	入念なアセスメントを基に、月2回の職員会でのカンファレンスを行い、本人・家族の意向を反映した介護計画が作成されている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	状況が変化した場合にはその都度必要な見直しが行われている。定期的な見直しは概ね3か月ごとを目標にしているが、6か月になることもある。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	宗教上の外出、理美容のための外出送迎など、状況や希望に応じて柔軟な対応が行なわれている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医の変更には、本人、家族、主治医との了解のもと、協力医との連携が図られている。また、必要に応じて他の専門医による治療も本人、家族の希望に沿った支援が行われている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	既にホームで終末を迎えた利用者もあり、家族の希望に対応する方針である。書面による確認もとられている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	敬愛の気持ちのこもった言葉遣いがなされている。失禁時にもさりげなく対応されている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入浴の順番にこだわる利用者の希望にあわせるために個々の調整を図ったり、帰宅願望に寄り添って外出するなどの支援が行われている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理のほとんどは介護度の低い利用者が多い2階で2ユニット分が作られ、盛り付けられた物を1階に運んでいる。1階ではご飯を炊き、時々おやつを作る程度である。	○	調理への参加が困難な利用者であっても、盛り付けや箸の準備など、できることを見いだしていただきたい。
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は週3回であるが、夏場はシャワーとの組み合わせで毎日入浴できるようになっている。入浴順番は希望に沿え、トラブルを回避するための見守りがおこなわれている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	日常的なことできそうなことを頼み、感謝の言葉を伝えている。趣味や特技を把握することで、同法人立の幼保園児の卒園祝いのポーチづくりを依頼したり、梅干を漬けてもらったりしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や、花見、植物園など積極的に外出の支援がなされているが、利用者の加齢や介護度による介護量が高くなり、集団での外出は職員の負担が大きくなってきている。	○	家族に協力をお願いすれば、職員で手の回らない部分をカバーでき、更に外出の機会が増えると思われる。
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は道路に面しており事務室に職員が居ない時は、出は入り状況がわかりにくい構造である。不審者の侵入が疑われる事件以降、警察の指導もあり施錠されている。居室や共用場所の窓は開放して閉塞感を与えないよう配慮されている。	○	多くが事業所が施錠しないことを目標とするなか、施錠せざるをえない当ホームについて、家族や運営推進会議において十分な説明により理解を求めていただくと共に、施錠せずにすむ時間帯なども見出していきたい。

宮崎県延岡市 グループホーム愛宕荘

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	近隣住民への協力依頼は声かけ程度であり具体性に乏しい。	○	職員による避難訓練に加え、地域住民に避難、誘導など具体的な協力依頼を行い、更なる地域との協力体制を構築していただきたい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	健康管理表に食事や水分量のチェック記録が確実に行われている。透析者の水分摂取量も医師の指示が守られている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	照明、温度など過度にならないよう配慮されている。共用スペースには季節の花や観葉植物で癒され、職員手描きの壁絵には季節を代表する行事や花等が描かれ、認知症緩和への対応がみられる。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	遺影や位牌がおかれたり、個々の希望に沿って自由に過ごせるように配慮がなされている。		

※  は、重点項目。